

ICD-11 における症状性を含む器質性精神障害

西村 勝治

ICD-10における症状性を含む器質性精神障害（F0）はICD-11では3つの大疾患群に解体，分割された。すなわち（i）「神経認知障害群」，（ii）「他に分類される障害又は疾患に関連する二次性精神又は行動の症候群」，（iii）「物質使用症群又は嗜癖行動症群」である。F0には医薬品による精神障害が含まれていたが，ICD-11では（iii）の下位カテゴリーである「他の特定される精神作用物質（医薬品を含む）使用症群」のなかの「誘発症」にコーディングされる。F0が分割されるに至った背景には，ICD-10の後に刊行されたDSM-IVからDSM-5における「器質性」の用語廃止，物質・医薬品誘発症群の統合が色濃く反映されている。

Keywords： 器質性精神障害，神経認知障害，
他に分類される障害又は疾患に関連する二次性精神又は行動の症候群，
物質・医薬品誘発症群

はじめに

ICD-10⁵⁾(1992年)における「症状性を含む器質性精神障害 (Organic, including symptomatic, mental disorders)」(F0)は，長くわが国の精神医学に根を下ろしていた伝統的・古典的疾患概念である外因性精神病を包含していた。すなわち狭義の器質性（一次性的脳疾患によるもの），症状性（脳以外の全身性の疾患によるもの），中毒性（薬物や化学物質などによるもの）の各精神病である。ただし，中毒性精神病のうち，アルコールと特定の精神作用物質（オピオイド，大麻，コカイン，鎮静薬や催眠薬などのいわゆる乱用薬物）によるものは「精神作用物質使用による精神および行動の障害 (Mental and behavioural disorders due to psychoactive substance use)」(F1)に分類され，一方，これらの物質以外の医薬品（ステロイド，抗うつ薬など）などによるものはF0に分類されたため，コーディングにあたり混乱をきたしていた³⁾。

ICD-11⁶⁾ではF0は3つの大疾患群に解体，分割されることになった。本稿では，この疾患分類上の大きな改編に影響を及ぼしたDSM-IV¹⁾ならびにDSM-5²⁾における当該領域の分類システムの変遷を述べ，次にF0をICD-11でどのようにコーディングするかを解説する。

I. 「器質性」の用語廃止

ICD-10の2年後の1994年に刊行されたDSM-IVでは，器質性 (organic) という用語が廃止された。当時，統合失調症や気分障害などは器質性と対比させて非器質性 (non-organic)・機能的な精神疾患と呼ばれていたが，この呼称はこれらの疾患に生物学的な要因やプロセスが関与していない印象を与えるため，用語として不適当と考えられたためである⁴⁾。器質性精神疾患に代わって登場した疾患カテゴリーが，その中核症状と考えられた「認知障害 (Cognitive Disorders)」であり，これにはせん妄，認知症，健忘性障害が含まれた。加えて，認知障害以外の器質性精神疾

表1 ICD-10とICD-11の対照表

ICD-10	ICD-11	
コード	疾患群*	コード (primary parent)
F00 アルツハイマー病型認知症	ND	6D80 アルツハイマー病による認知症 (Dementia Due to Alzheimer Disease)
F01 血管性認知症	ND	6D81 脳血管障害による認知症 (Dementia Due to Cerebrovascular Disease)
F02 他に分類されるその他の疾患の認知症 [†]	ND ND ND ND	6D82 レビー小体病による認知症 (Dementia Due to Lewy Body Disease) 6D83 前頭側頭型認知症 (Frontotemporal Dementia) 6D85 他に分類される疾患による認知症 (Dementia Due to Diseases Classified Elsewhere) [§] 6D8Y 認知症, 他の特定される原因 (Dementia, Other Specified Cause)
F03 特定不能の認知症	ND	6D8Z 認知症, 原因は不明又は特定不能 (Dementia, Unknown or Unspecified Cause)
F04 器質性健忘症候群, アルコールおよび他の精神作用物質によらないもの	ND	6D72.0 他に分類される疾患による健忘症 (Amnesic Disorder Due to Diseases Classified Elsewhere)
F05 せん妄, アルコールおよび他の精神作用物質によらないもの	ND	6D70.0 他に分類される疾患によるせん妄 (Delirium Due to Disease Classified Elsewhere)
F06 脳損傷, 脳機能不全および身体疾患による他の精神障害		
F06.0 器質性幻覚症	SM	6E61.0 二次性精神症候群, 幻覚を伴う (Secondary Psychotic Syndrome, with Hallucinations)
F06.1 器質性緊張病性障害	SM	6E69 二次性カタトニア症候群 (Secondary Catatonia Syndrome)
F06.2 器質性妄想性 (統合失調症様) 障害	SM SM	6E61.1 二次性精神症候群, 妄想を伴う (Secondary Psychotic Syndrome, with Delusions) 6E61.2 二次性精神症候群, 幻覚及び妄想を伴う (Secondary Psychotic Syndrome, with Hallucinations and Delusions)
F06.3 器質性気分 (感情) 障害	SM	6E62 二次性気分症候群 (Secondary Mood Syndrome)
F06.30 器質性躁病性障害	SM	6E62.1 二次性気分症候群, 躁症状を伴う (Secondary Mood Syndrome, with Manic Symptoms)
F06.31 器質性双極性感情障害		(該当なし: 6E62.0, 6E62.1, または 6E62.2 を気分症状に応じて用いる)
F06.32 器質性うつ病性障害	SM	6E62.0 二次性気分症候群, 抑うつ症状を伴う (Secondary Mood Syndrome, with Depressive Symptoms)
F06.33 器質性混合性感情障害	SM	6E62.2 二次性気分症候群, 混合症状を伴う (Secondary Mood Syndrome, with Mixed Symptoms)
F06.4 器質性不安障害	SM	6E63 二次性不安症候群 (Secondary Anxiety Syndrome)
F06.5 器質性解離性障害	SM	6E65 二次性解離症候群 (Secondary Dissociative Syndrome)
F06.6 器質性情緒不安定性 (無力性) 障害		(該当なし)
F06.7 軽度認知障害	ND	6D71 軽度認知障害 (Mild Neurocognitive Disorder)
F06.8 脳損傷, 脳機能不全および身体疾患による他に特定される精神障害	SM SM SM SM	6E60 二次性精神発達症候群 (Secondary Neurodevelopmental Syndrome) 6E64 二次性強迫又は関連症候群 (Secondary Obsessive-compulsive or Related Syndrome) 6E66 二次性衝動制御症候群 (Secondary Impulse Control Syndrome) 6E6Y 二次性精神又は行動の症候群, 他の特定される (Other Specified Secondary Mental or Behavioural Syndrome)
F06.9 脳損傷, 脳機能不全および身体疾患による特定不能の精神障害	SM	6E6Z 二次性精神又は行動の症候群, 特定不能 (Secondary Mental or Behavioural Syndrome, Unspecified)
F07 脳疾患, 脳損傷および脳機能不全によるパーソナリティおよび行動の障害		
F07.0 器質性パーソナリティ障害	SM	6E68 二次性パーソナリティ変化 (Secondary Personality Change)
F07.1 脳炎後症候群	SM	
F07.2 脳震盪後症候群	SM	
F07.8 脳疾患, 脳損傷および脳機能不全による他のパーソナリティおよび行動の障害	SM	
F07.9 脳疾患, 脳損傷および脳機能不全による特定不能のパーソナリティおよび行動の障害	SM	6E6Z 二次性精神又は行動の症候群, 特定不能 (Secondary Mental or Behavioural Syndrome, Unspecified)
F09 特定不能の器質性あるいは症状性精神障害	ND SM	6E0Z 神経認知障害群, 特定不能 (Neurocognitive Disorders, Unspecified) 6E6Z 二次性精神又は行動の症候群, 特定不能 (Secondary Mental or Behavioural Syndrome, Unspecified)

ここでのICD-10は症状性を含む器質性精神障害 (F0) を指すが、医薬品による精神障害を除く。

*ND: 神経認知障害群 (Neurocognitive Disorders), SM: 他に分類される障害又は疾患に関連する二次性精神又は行動の症候群 (Secondary Mental or Behavioural Syndromes Associated with Disorders or Diseases Classified Elsewhere), [†]ピック病, クロイツフェルト・ヤコブ病, ハンチントン病, パーキンソン病, ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症, その他による認知症を含む, [§]パーキンソン病, ハンチントン病, 重金属や他の毒物への曝露, HIV 感染症, 多発性硬化症, プリオン病, 正常圧水頭症, 頭部外傷, ベラグラ, ダウン症候群, その他の特定の疾患による認知症を含む。

表2 医薬品による精神障害*の ICD-11 草案におけるコード

ICD-11 草案	
大疾患群**	コード (primary parent)
ND/PA [†]	6D84 精神作用物質 (医薬品を含む) による認知症 (Dementia Due to Psychoactive Substances Including Medications)
ND/PA [†]	6D72.1 精神作用物質 (医薬品を含む) による健忘症 (Amnesic Disorder Due to Psychoactive Substances Including Medications)
CA/PA [†]	6A41 物質又は医薬品誘発性カタトニア (Catatonia Induced by Substances or Medications)
PA	6C4E.5 他の特定される精神作用物質 (医薬品を含む) によるせん妄 (Delirium Induced by Other Specified Psychoactive Substance Including Medications)
PA	6C4E.6 他の特定される精神作用物質誘発性精神症 (Psychotic Disorder Induced by Other Specified Psychoactive Substance) [‡]
PA	6C4E.70 他の特定される精神作用物質誘発性気分症 (Mood Disorder Induced by Other Specified Psychoactive Substance) [‡]
PA	6C4E.71 他の特定される精神作用物質誘発性不安症 (Anxiety Disorder Induced by Other Specified Psychoactive Substance) [‡]
PA	6C4E.72 他の特定される精神作用物質誘発性強迫症又は関連症 (Obsessive-compulsive or Related Disorder Induced by Other Specified Psychoactive Substance) [‡]
PA	6C4E.73 他の特定される精神作用物質誘発性衝動制御症 (Impulse Control Disorder Induced by Other Specified Psychoactive Substance) [‡]
PA	6C4E.Y 他の特定される精神作用物質 (医薬品を含む) 使用症, 他の特定される (Other Specified Disorders Due to Use of Other Specified Psychoactive Substances, Including Medications)
PA	6C4E.Z 他の特定される精神作用物質 (医薬品を含む) 使用症, 特定不能 (Disorders Due to Use of Other Specified Psychoactive Substances, Including Medications, Unspecified)

*ICD-10 の F10~19 において特定された精神作用物質以外の医薬品による精神障害 (F0 症状性を含む器質性精神障害に含まれる), **ND: 神経認知障害群 (Neurocognitive Disorders), PA: 物質使用症群または嗜癖行動症群 (Disorders Due to Substance Use or Addictive Behaviours), CA: カタトニア (Catatonia), [†]PA に cross-listed, [‡]コード名には医薬品の記載はないが, これらの上位コードである 6C4E には医薬品を含むことが明記されているため, 混乱を避けるために日本語名には医薬品を含むことを追記した。

患 (気分障害など) については「一般身体疾患による精神障害 (Mental Disorders Due to General Medical Condition)」に分類された。DSM-5 (2013 年) でも基本的には同じ分類システムが引き継がれたが, 後者には独立した章は用意されず, 各大疾患群 (例えば, 抑うつ障害群など) の下位疾患カテゴリーとして配置された。

II. 物質・医薬品誘発性精神疾患群の統合

上述のように, ICD-10 では精神作用物質によって誘発される精神障害を, それを誘発したのがいわゆる乱用物質か否かで区別し, F1 と F0 に振り分けられていた。DSM-IV ではこのような区別はせず, 医薬品を含む物質によって生じる精神障害はすべて「物質誘発性障害 (Substance-Induced Disorders)」(DSM-5 では「物質・医薬品誘発性精神疾患群」として統合され, ICD-11 にも引き継がれた。

III. 症状性を含む器質性精神障害 (F0) の ICD-11 草案におけるコーディングの実際

F0 のうち, 認知症, 健忘症候群, せん妄 (F00~05) は ICD-11 草案における「神経認知障害群 (Neurocognitive Disorders)」に, 認知障害以外の器質性精神疾患 (F06, F07) は ICD-11 における「他に分類される障害又は疾患に関連する二次性精神又は行動の症候群 (Secondary Mental or Behavioural Syndromes Associated with Disorders or Diseases Classified Elsewhere)」に該当し, それぞれをプライマリー・ペアレントの大疾患群としてコーディングする (表 1)。後者はさらに「精神, 又は行動の症候群」の類型 (精神症, 気分症, 不安症など) に従って下位の疾患カテゴリーにコーディングされるシステムとなっている (例えば, 6E63 二次性不安症候群)。

一方, 上述したように F0 には医薬品による精神障害が含まれていた。これについては, ICD-11 では「物質使用症群 (Disorders Due to Substance Use)」の下位疾患カテゴリーである「6C4E 他の特定される精神作用物質 (医薬

品を含む) 使用症群 (Disorders Due to Use of Other Specified Psychoactive Substances, Including Medications)」における「誘発症 (Substance-induced Disorders)」に相当し、個々の精神症状の類型に従ってコーディングされる (例えば、6C4E.71 他の特定される精神作用物質誘発性不安症) (表 2)。これらのうち、せん妄、精神症、気分症、不安症、強迫症又は関連症、衝動制御症については「物質使用症群」をプライマリー・ペアレントとしてコーディングされる。一方、認知症、健忘症については「神経認知障害群」、カタトニアについては「カタトニア (Catatonia)」をプライマリー・ペアレントとしてコーディングされるが、これらは「物質使用症群」のリスト内にも参考までに提示される (cross-listed)。

精神疾患が複数の医薬品、物質によって複合的に生じているとみなされる場合もある。そのために、「6C4F 複数の特定される精神作用物質 (医薬品を含む) 使用症 (Disorders Due to Use of Multiple Specified Psychoactive Substances, Including Medications)」が用意されている。

なお、「他に分類される障害又は疾患に関連する二次性精神又は行動の症候群」ならびに「物質使用症群」をプライマリー・ペアレントとしてコーディングされた疾患は、個々の精神症状の類型に沿った大疾患群 (精神症群、気分症群、不安症群など) をセカンダリー・ペアレントとしてもコーディングされる (例えば、「不安症群」の下位疾患カテゴリーとしても「二次性不安症候群」と「物質誘発性不安症」が配置されている)。



おわりに

ICD-11 草案で解体、分割された F0 の疾患がどのように

コーディングされるかについて、ICD-10 以後に発刊された DSM-IV、DSM-5 における症状性・器質性精神疾患の分類システムの変遷を引き合いに出しながら概説した。

なお、本論文に関連して開示すべき利益相反はない。

文献

- 1) American Psychiatric Association : Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, 4th ed (DSM-IV). American Psychiatric Association, Washington, D. C., 1994 (高橋三郎, 大野裕, 染矢俊幸訳: DSM-IV 精神疾患の診断・統計マニュアル. 医学書院, 東京, 1995)
- 2) American Psychiatric Association : Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, 5th ed (DSM-5). American Psychiatric Publishing, Arlington, 2013 (日本精神神経学会 日本語版用語監修, 高橋三郎, 大野裕監訳: DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル. 医学書院, 東京, 2014)
- 3) 西村勝治: 器質性, 症状性精神疾患—総論 (概念と分類)—. 精神科, 35 (Suppl1); 316-320, 2019
- 4) Spitzer, R. L., First, M. B., Williams, J. B., et al. : Now is the time to retire the term “organic mental disorders”. Am J Psychiatry, 149 (2); 240-244, 1992
- 5) World Health Organization : The ICD-10 Classification of Mental and Behavioural Disorders : Clinical Descriptions and Diagnostic Guidelines. World Health Organization, Geneva, 1992 (融道男, 中根允文ほか監訳: ICD-10 精神および行動の障害—臨床記述と診断ガイドライン—, 新訂版. 医学書院, 東京, 2005)
- 6) World Health Organization : ICD-11 for Mortality and Morbidity Statistics (<https://icd.who.int/browse11/l-m/en>) (参照 2022-01-31)

Organic, Including Symptomatic, Mental Disorders in ICD-11

Katsuji NISHIMURA

Department of Psychiatry, Tokyo Women's Medical University

Organic, including symptomatic, mental disorders (F0) defined in ICD-10 were divided into the following three major disorder groups in the ICD-11's draft : 1) Neurocognitive Disorders ; 2) Secondary Mental or Behavioural Syndromes Associated with Disorders or Diseases Classified Elsewhere ; and 3) Disorders Due to Substance Use or Addictive Behaviors. F0 included mental disorders caused by medications ; however, in ICD-11, it is coded as Substance-Induced Disorder in Disorders Due to Use of Other Specified Psychoactive Substances, Including Medications, which is a subcategory of the third. Dividing F0 strongly reflects the inclination to abolish the term "organic" and the integration of substance- and drug-induced disorders in both DSM-IV and DSM-5, which were published after ICD-10.

Author's abstract

Keywords organic mental disorders, neurocognitive disorders, secondary mental or behavioural syndromes associated with disorders or diseases classified elsewhere, substance/medication-induced disorders